



# 若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 環境を整える

園長 宮竹 恒

長い夏休みを終え、子どもたちは、目標も新たにし、新学期を迎えました。

新学期の始まりと共に小・中学校の分校化に向けて準備がスタートしました。

学園にとっては、大きな節目の時を迎えています。子どもたちにとって、より良い環境を整えていく見直しの時期にきています。

児童心理治療施設は、全国児童心理治療施設協議会のホームページでは、『施設全体が治療の場であり、施設で行っている全ての活動が治療であるという「総合環境療法」の立場をとっています。具体的には、①医学・心理治療、②生活指導、③学校教育、④家族との治療教育、⑤地域の関係機関との連携を治療の柱とし、医師、セラピスト、児童指導員や保育士、教員など子どもに関わる職員全員が協力して一人のひとりの子どもの治療目標を達成できるよう、本人と家族を援助していきます。』と、紹介されています。

「総合環境療法」については、これまで、様々な取り組みが成され、現在も試行錯誤されていますが、生活の場が、治療の場であるという土台は変わらないと思います。

より良い生活の場を整えることが、より良い治療を行う上で大切になります。今、学園では、子どもたちにとってより良い環境は何かを考え、整えている途中です。

小・中学校の分校化は、子どもたちが、治療と並行して、学習を行い、人間関係を学ぶために大切な環境の一つになります。

日々、小・中学校の先生方には子どもたちの成長に合わせた教育に尽力して頂いていますが、環境（建物・教員配置）が整うことで、より子どもの個性に応じた学習が出来ると考えています。

学園では、子どもたちにより快適な生活空間を提供し、安心して生活出来る環境を整える取り組みを始めたところです。

これまでの日課・ルールを見直し、子どもたちの意見も取り入れ生活全体を考え直す時期にもきています。

コロナ禍、子どもたちは、これまでにない、ストレスを感じて生活をしていますが、学園が心地よく生活できる場が変わっていくチャンスにしたいと思います。

子どもたちは、与えられた環境の中、毎日を懸命に生きています。園庭で元気にサッカーや野球、鬼ごっこ、バトミントンなどを職員と一緒に楽しんでいる姿を見ていると、子どもたちの成長しようとする力を感じます。

子どもたちが、毎日、笑顔で過ごすには、関わる職員が共に生活し、一緒に考え、一緒に活動していくことが大切だと考えています。

節目の時、職員と一緒に研鑽し、子どもたちにより良い環境と治療が提供できるよう努めていく所存です。

— 一 —

## 青峰・若竹学級だより

### 始業式

令和3年度2学期始業式を学校1階のホールで行いました。校長先生からは、ウイルスの仕組みやコロナ予防を十分に行って勉学に励んでほしいことなどのお話がありました。



### 学習の診断・休み明け・中間テスト

9月2日3日に中学校3年生は第2回学習の診断を、1・2年生は夏休み明けテストを受けました。コロナにより2日間に分けて行いましたが、最後まで集中して取り組んでいました。

2学期中間テストでは、友だち同士で重要語句を何度も確認したり、黙々と問題集を解いたりしてテストに向けて望む姿が見られました。

### 家庭科・洗濯学習

小学生は家庭科の時間に洗濯の仕方についての学習をしました。自分が花壇の整備で使った軍手を洗いました。きれいになるように自分の手でしっかりと洗濯をしていました。その後は外に干して乾かしました。

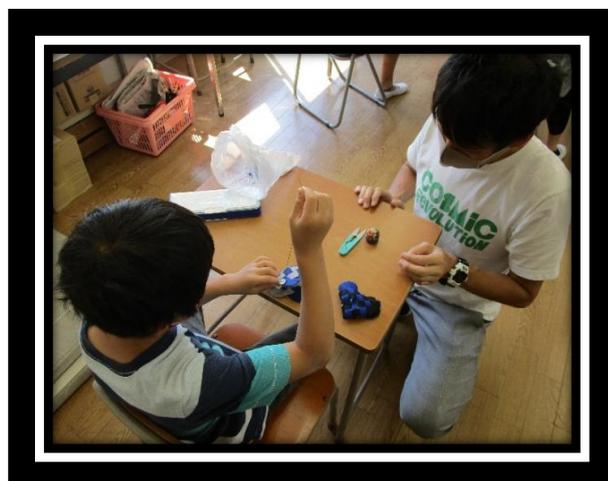
自分で手洗いすることはあまり経験がなかったようですが頑張っていました。



### 家庭科・裁縫学習

中学生は、家庭科の時間に裁縫の学習として手提げ袋を作りました。玉止めや玉結びにとっても苦労しながら、それぞれが自分だけのオリジナルの手提げを作っていました。

小学生は香り袋を作りました。ボタンを付け、自分の気に入った香りのする袋を作りました。





# 夏祭り

夏休み最終日の8月31日、夏祭りが開催されました。約一週間前から園生が中心となって準備を進めてきました。



どうしたら見やすい看板になるだろう？みんなが楽しめるルールにするにはどうしよう？と話し合いの毎日です。職員はサポートのみでしたが、積極的に準備を行う園生が多く、とても頼もしく感じました。

待ちに待った当日、夏祭りが始まると子どもたちは散り散りに好きな店に向かいます。



お店に立つ子どもは「焼きそばおいしいよー！」「飲み物いる人いませんか？」と暑い中声を張り上げており、本物のお祭りのようです。



玄関前には人気アニメの顔出しパネルも設置しました。これも女子園生からの提案があり、園生だけで完成させたものです。

最後は全員で輪になって盆踊りを踊りました。練習はたった2回しかしていませんが、子どもたちはみんな上手に踊っていました。



準備期間からテントの準備を快く手伝ってくれる園生がいたり、当日には職員を気遣い食べ物を配達してくれる園生がいたり、園生の思いやりと成長を感じられる夏祭りとなりました。

コロナで外出が難しい夏休みだったので、園生にとっても良い思い出になっていたら嬉しいです。





令和5年4月の完成を目指して、分校建設工事が始まりました。まずは、山の木を伐採し敷地を広げる工事がスタートしました。

そのために、若竹学園の大切なお地蔵様がお引越しました。

園庭から3階の入り口に変わりました。

学園を訪れる方々をお迎えして下さるようになります。

学園の子どもたちや職員だけでなく、学園を訪れる全ての人を優しい暖かな微笑みでお守り頂けると思います。



お地蔵様の引越し後、伐採が始まりました。

1本1本、木が倒されていきました。1週間もたたない間に、敷地が広がりました。

次にボーリング調査が始まりました。

寂しい気持ちになりましたが、すぐに新しい校舎への期待の気持ちが込みあがってきました。

## 9月行事

24日、25日

誕生日ケーキ作り

### 在籍人数

令和3年10月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	4	8
中学生	13	1	14
合計	17	5	22

### 編集後記

今月から夏休みも終わり、学校登校が再開しました。夏休みの宿題や中間テストに向けた勉強を頑張っている子どもたちの姿も見られました。

日中でも涼しい日々が続いていますが、子どもたちも大人も体調に気を付けながら過ごしていけるようにしたいです。

大室

### 第330発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

